第1号近江八幡市子ども・若者育成支援事業プロデュース業務委託仕様書

1 件名

第1号近江八幡市子ども・若者育成支援事業プロデュース業務委託

2 委託期間

契約締結の日（令和7年2月1日想定）から令和9年3月31日まで

3 業務目的

近江八幡市においては、教育相談支援機関として、小学生から中学生を対象とした教育相談室と、20歳までの若者を対象とした少年センター（あすくるHAR）をマナビィ（旧南中学校）に設置し、相互の連携を図りながら相談支援業務を行っている。また、令和4年度からは、臨床発達心理士を配置し、市役所南別館2階に39歳までの若者を対象とした、子ども・若者相談窓口を開設した。

しかしながら、ハード面の課題として、現在使用しているマナビィは耐震面が不十分であることに加え、老朽化が進行し、機能面も旧の学校施設を引き継いだ状態が続いていることから、若者が相談のために一歩踏み出すにはハードルが高い。

また、本市の現状として、国や県と比較して不登校児童生徒の在籍率が高く、学校や家庭だけでは解決困難なケースが大半を占めることから、各機関が連携して支援しているものの、縦割りの対応では限界があるのが現状である。相談窓口への相談内容は、特に若者においては就労への悩みや不安、仕事が続かないことへの自信喪失に関する内容が多く、就労につながる事が難しいことから、多くのケースは定期的な面談や電話相談から進展しない現状である。

このような背景において、令和6年度から設計業務を開始し令和8年度中の完了を目指す既存の公共施設（旧人権センター 近江八幡市鷹飼町南四丁目4-4）の改修整備により、上述の教育相談支援機関を集約した新たな拠点機能の構築を進めていくこととしている。従来の就労支援のみでは若者が孤立状態から社会となめらかに接続し、社会参加への扉を開けることは極めて難しいため、「若者が協働し、自ら『職』を生み出す起業支援」や「若者による、まちづくりプロジェクト企画と運営の支援」を行政施策として拠点を活用し展開することにより、子ども・若者育成支援の更なる進展を図るべく、子ども・若者育成支援事業プロデュースを業務の目的とする。

4 業務内容

業務内容について、若者の起業支援や社会参加のきっかけづくりとして、特にひきこもりや不就労等の状態にある若者が社会参加への第一歩を踏み出し、自分自身のできることや得意とすること等に気づきながら様々な取組意欲が育ち、将来的に起業や就労につながっていくことを想定している。そのためのプロデュース業務として、取組の企画立案、現場運営、関係機関との連携、広報周知、進捗管理等を主体的に担う。

以下の記載事項は最低限の要件を定めたものであり、記載事項に留意の上、本業務の目的に

沿った業務内容を提案すること。

(1) 基礎調査

①起業支援にかかる社会経済情勢の展望と分析

- ・子ども・若者育成支援及び起業支援にかかる全国的な動向を調査し、分析すること。

②近江八幡市の現状分析及び課題整理

- ・本市における不登校や引きこもり、その他の支援にかかる現状を分析すること。
- ・上記分析に基づく問題点等を抽出し、課題整理及び将来動向の整理をすること。

(2) 基本構想及び基本計画、プロジェクト計画の作成

◎本業務を円滑かつ効果的に遂行するため、基本構想及び基本計画、プロジェクト計画を検討し、作成すること。

◎計画書（本編・概要版）を編集し（作図・デザイン含む）、校正後、印刷製本すること。

①基本構想案の検討・作成（100部程度）

②基本計画案の検討・作成（100部程度）

③プロジェクト計画案の検討・作成（100部程度）

基本構想

若者の引きこもり等にある状態から社会参加、自己発見から起業に向けた各種取組の基本目標とそれを達成するために取り組む施策の大綱を示したもの。基本計画、プロジェクト計画の根幹となるもの。

基本計画

基本構想の理念を受けて、その実現に向けて必要となる個別施策や分野別に体系化したもの。

プロジェクト計画

基本計画で体系化した個別施策の計画的、効率的な事業を推進するために財政観点や事業の具体的な取組計画や事業量などを明らかにしたもの。

(3) 本事業にかかる総合プロデュース及びプロデュース協議会の企画・運営（令和7年度～8年度）

基本構想、基本計画及びプロジェクト計画に基づく総合プロデュース及びプロデュース協議会の企画・運営を行うとともに、以下の項目を必須として提案すること。

- ・イベントの企画・運営
- ・HPの制作（webサイトのドメインは、新規取得すること）・運用
- ・SNSの企画・運用
- ・広報用チラシ・ポスターの制作・配布
- ・利用者用リーフレットの制作・配布
- ・若者の起業支援及びまちづくりプロジェクトの企画・運営
- ・メタバース構築

◎プロデュースにかかる協議会の開催（令和7年度～8年度 全4回を想定）

①協議会の企画運営

②会議資料の作成

③議事録の作成

(4) 起業プロジェクトの企画・運営（令和7年度～8年度）

各種起業プロジェクト（5部会程度を想定）に係る企画・運営を行うとともに、全プロジェクトを統括した総合プロデュースにより、若者が志向する起業アイデアをブラッシュアップするとともに、本プロジェクトを踏まえた新たな就労モデルや若者によるまちづくりプロジェクトのための検討、提案を行うこと。

◎起業プロジェクト部会

①各種起業プロジェクト発足に向けた準備

②各種起業プロジェクトの運営

③講師及びアドバイザー等の専門家招聘による起業プロジェクト及びワークショップにおける指導及び支援

④全プロジェクトを統括した総合プロデュース

⑤各種起業プロジェクトの会議資料の作成

⑥各種起業プロジェクトの議事録の作成

◎プロジェクト統括会議（令和7年度～8年度 全4回程度を想定）

(5) 企業及び支援機関との連携（令和6年度～8年度）

企業や支援機関との連携による新たな就労プログラムを導入する等、本事業の充実に向けて企業等との関係性を構築すること。

(6) 施設改修設計内容への助言等への留意（令和6年度～8年度）

別途実施予定する既存の公共施設（旧人権センター）の改修設計業務委託に関し、子ども・若者にとってより望ましい居場所づくり、若者の起業・就労支援や社会参加のきっかけづくり等につながるよう、改修内容への助言、提案を行うこと。なお、現在この設計業務は未着手であり、配置レイアウト等の具体的な助言や提案は、今後契約相手との協議になることに留意すること。

(7) 進捗管理

業務期間中の業務に係る進捗管理方法を検討し、提案すること。なお、業務期間を通じて事業に取り組むものとし、全体の流れは概ね次のとおりを想定する。

令和6年度 本市の状況等の把握、基本構想案の検討・作成

令和7年度 基本計画案の検討・作成

令和8年度 プロジェクト計画案の検討・作成

5 守秘義務

受注者は、本業務の実施に当たって知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。また、成果物（業務の遂行過程において得られた記録等を含む。）がある場

合、他に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。ただし、本市の承諾を得た場合は、この限りではない。

6 その他

- (1) 業務の実施にあたり、本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、双方の協議により決定する。
- (2) 業務の実施にあたり、内容等について本市と十分協議すること。また、支援機関等関係者や本市の関係事業・施策と十分に連携すること。
- (3) 本業務にかかる仕様記載事項については、今後状況に応じて変更する場合があります、その変更には可能な限り柔軟に対応すること。なお、その場合は次のとおり留意すること。
 - ① 契約金額の範囲内で対応すること。
 - ② 仕様変更に伴う金額の変更は、状況に応じて契約金額を減額する場合があること。
- (4) 受注者は、本業務にかかる契約に基づきプロデュース業務に関する技術上の一切の事項を処理するものとする。なお、受注者は、プロデュース業務の履行にあたり技術上の管理を行うために必要な能力と経験を有する者を専従させなければならない。
- (5) 受注者は、委託業務の期間中、発注者と定期的に連絡調整、報告・共有を行い、円滑な業務の実施に努めなければならない。
- (6) 業務の活動場所は、自社事務所のほか、本市が指定する庁舎事務室を使用することができる。なお、令和8年度の旧人権センター改修整備後は同施設も同様の扱いを予定する。